

2010年7月22日

／ 幻聴は徐州へ徐州へと麦の秋 ／

体験がございませんか？ 誰もいないのに耳の奥で話し声や悪口が聞こえたり、隣家の音楽や歌声みたいなのが聞こえたりすることが…。

私はここ三、四年来、この幻聴現象に悩まされているのです。

医術に心得のある長女が調べてくれたところでは、話し声や悪口が聞こえるのは精神異常の兆し、音楽や歌声は脳腫瘍に遠因がある、とか。医者には「脳のMRIを撮ってみますかね」といわれ、尻込みしています。実は、長女は獣医なんですけど…笑ってもいられません。

…時折、『麦と兵隊』の主題歌が聞こえてきます。火野葦兵の小説、古い映画、小杉勇なんてえ俳優がイメージできます。パロっているわけじゃない。歌詞を詠み込んで、季語とあわせ“絵”に仕立ててみたんです…このほうが幻聴の深刻さを詠むにしても、詩情があるだろうと。

／ 春愁ひ軍艦マーチが耳の奥 ／

なぜなんですかねえ…私が若い頃の、古い歌が聞こえてくるのがほとんどなんです。愛馬行進曲だとか♪トントンとんからりと♪だの、東京行進曲、青い山脈などなど…。不思議・滑稽な記憶力？。脳の何処かに刷り込まれているのが、現れてくるんですね、きっと。

／ 春愁や耳の底から真っ黒けのけ ／

…と、まとめたのを娘へのメールに添えたところ、「なんなの、分からないわ」という返事が来て、かえってホッとしました。

／ 冬帽子幻聴籠もる脳の底 ／

…なにせ暑いにつけ寒いにつけ、聞こえてくるんですから閉口です。

寝入りばなに♪海の民なら男ならー♪

…とやりだしたりしますが、スイッチもきれない。五木の子守歌だったら、まだいい

のに……。 永年積み重ねた教養の故でしょうねえ、ベートーベンやバッハ、モーツァルトなんてえ高尚なのは聞こえません。たまに洋楽が聞こえても、それは『スター・ウォーズ』だったりしてね。

幻聴のひどい時、スピーカーにつなげたら他人にも聞こえるだろう…なんて馬鹿げたことも考えましたが、そんな自分を凝視して、何句か五七五にまとめてあります。人体というのは、深刻な、滑稽なことが起こるものですねえ。

茅ヶ崎 山内重昭